

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート

		<b>部課名</b>	教育委員会事務局生涯学習課	
<b>施設名称</b>	41 東京都台東区立今戸社会教育館	<b>指定管理者</b>	JN共同事業体	
<b>選定方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	<b>指定期間</b>	H29. 4. 1	～ H34. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。またラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成及び区民の生涯教育・文化教養の向上に助力する。
(2)	[所在地]	台東区今戸2-26-12 今戸住宅11階建2階 待乳保育園と併設
	[規模]	延床面積527㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ホール(50名) 第1会議室(30名) 第2会議室(40名) 和室(30名)
(3)	[委託事業]	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施
	[自主事業]	今戸フェスタ実施
(4)	[利用者]	社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。
	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他( )
(5)	[開館日・時間]	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制]	5名 (内 訳) 館長(1) 教育担当(1) 受付・庶務(3) (前年増減) —

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料(指定管理料)	19,923,000	19,923,000	15,434,000	15,434,000
	利用料金収入	1,190,000	1,004,060	1,174,200	1,254,655
	その他収入( )	0	0	0	0
	計	21,113,000	20,927,060	16,608,200	16,688,655
支出	人件費	15,822,000	15,822,000	12,020,400	11,983,153
	光熱水費	1,648,000	1,385,753	1,523,000	1,329,544
	維持管理費(委託料・賃借料)	1,340,000	1,340,000	2,270,000	2,271,834
	修繕費	210,000	413,044	30,000	28,512
	事業費	892,000	448,525	0	0
	その他支出(消耗品費・通信運搬費等)	1,201,000	1,763,988	764,800	1,075,612
	計	21,113,000	21,173,310	16,608,200	16,688,655
収支			-246,250		0

3. 活動指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
年間開館日数	日	338	343	343	341
自主事業等講座	講座	12	14	13	12

4. 成果指標	単位	(目標値)31年度	27年度	28年度	29年度
利用率	%	37.0	32.2	34.2	37.0
利用人数	人	19,300	18,491	20,621	18,710

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

--

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	事業計画書等の区との必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めたが、月次報告書及び年次報告書の提出において、数値の修正による差替が発生した。概ね適正な管理がなされているが、より細やかな対応が必要である。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	今戸フェスタでは、サークル同士のコラボや来館者が参加できる発表を工夫する等、利用者の増加に努めている。一部の講座では、募集定員に満たない等の課題はあったが、全体的には概ね事業計画に沿った講座を実施しており、適切な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	不具合が見つかった際には、優先順位の高い箇所から修繕する等、計画的な保守管理を実施している。また、異常時にスムーズな連絡がとれるよう緊急連絡体制表を作成しており、適切な施設の維持管理がなされている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	年度末に年間を通じた施設利用に関するアンケートを実施し、アンケート結果は概ね良好である。また、苦情については、苦情処理の体制に基づき適切に対応を行うなど、サービス向上に努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用料金収入は目標を達成し、概ね適切な予算執行がなされている。一方で、予算科目間の流用等が見られるため、収支計画に沿った予算執行が求められる。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	デジタルサイネージを導入したことで、他館の利用状況やイベント等の情報をわかりやすく見られるようになった。情報を効果的に発信するとともに、情報伝達の質の向上を図ったことにより、サービス向上につながった。
7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 94 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>地域に根ざした講座として浅草寺周辺の道案内の実践講座の開催やフェスタでの発表を工夫する等、利用者の増加に努めている。アンケートの結果も概ね良好であり、施設の設置目的に沿った良好なサービスの提供が図られている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主要な要因・課題】</p> <p>アンケート調査の実施時期が遅く、調査結果を活用できなかった。利用者増加に努め利用率は増加したが、利用人数が前年度を下回っている。隅田川沿いの特性を活かした特色ある事業計画をたて、活動内容を更に周知し、今まで施設を利用した事のない新たな利用層の拡大に努める必要がある。</p>